



© 藪下 壮

世界がかわした約束 ～子どもの権利展～

2008年

6月23日(月)～7月4日(金) 開館時間：10時～18時
市民国際プラザ(相互半蔵門ビル1F) 休館日：土・日・祝日
入館料：無料

主催：(財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

協力団体：(特活)国際子ども権利センター (特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
(特活)子どもの権利条約総合研究所 (特活)子どもの権利条約ネットワーク
(特活)こども福祉研究所 (財)日本ユニセフ協会

詳細は裏面をご覧ください→

「子どもの権利」と聞いてみなさんは何を思いますか？
「子どもに権利ってあるの？」そんな疑問をもつ方も多いかもしれません。

今回のパネル展では、
「子どもの権利」とは何？そしてそれはなぜ必要なの？
というような素朴な疑問にもお答えし、
世界の子ども・日本の子どもの状況を「子どもの権利」という視点から考えます。
みなさまお誘いのうえ、是非おこしください。

内容

- ◆子どもの権利とは？ 子どもの権利条約の紹介
- ◆写真とグラフで見る子どもの権利
 - －世界の子ども－ 子ども兵士・児童労働・エイズ孤児・難民・飢餓の状況等
 - －日本の子ども－ 児童虐待・いじめ・不登校の状況等
- ◆こどもの権利を守る活動をしているNGO・自治体の紹介

特別企画 講演会

6月30日(月)18:30～20:30 (要申込み・無料)

「なぜ子どもの権利条約なのか」 講師 **喜多明人氏**(子どもの権利条約総合研究所代表)

第二次世界大戦で多くの子どもの犠牲者を出したポーランドの提案をきっかけに、
10年もの歳月をかけてつくられた子どもの権利条約。

なぜ子どもの権利条約はそれほど必要だったのでしょうか？

子どもの権利条約総合研究所代表の喜多明人さんに子どもの権利条約制定までのその背景と条約の意義をお話しいたします。

7月1日(火)18:30～20:30 (要申込み・無料)

「自治体と市民の連携による子どもの権利実現を探る」 講師 **森田明美氏**
(NPO法人こども福祉研究所理事長)

子どもの権利の実現に向けて自治体と市民の連携が求められる中で、
市民と自治体とのパイプ役としてのNPOの役割が注目されています。

NPO法人こども福祉研究所理事長の森田明美さんに、西東京市・八王子市・八千代市での自治体と市民の連携の経験もご紹介いただきながら、子どもの権利実現のためのNPOの役割についてお話しいただきます。



市民国際プラザご案内

問い合わせ・申し込み先

所在地 千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 1階
半蔵門線「半蔵門」駅 1・2番出口 徒歩2分
有楽町線「麹町」駅 1番出口 徒歩8分

TEL 03-5213-1734

FAX 03-5213-1740

E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp

HPでも詳しく紹介しています→ <http://www.plaza-clair.jp>